

中学校再編に向けての保護者意見交換会の概要

【内海地区】

日 時 令和3年9月10日（金） 午後6時30分～午後8時00分
場 所 町公民館内海分館 2階集会室
参加者 保護者8名、傍聴者7名

内海地区 主な意見

Q: 豊浜地区に新校舎建設を建設する理由は、資料から読み取れますが、町の総合計画では、人口減少を止めることが一番の課題だといっているのに、なぜ、人口減少が他地区に比べると緩やかな内海地区に校舎を建設しないのか疑問です。

⇒アンケートの資料に記載しましたが、両島含める全ての地区からの生徒の通学や保護者のアクセスの利便性を最も重視し、地理的に本町中心に近い豊浜中の位置に新校舎を建設することにしました。

Q: 昨年度の説明会では、内海中を今後改修して20年使用していくと説明していたが、今年度になって、豊浜中に新校舎を建設することになった。内海に新校舎を建設でもいいと思う。そのところがなぜ変わったのかよくわからない。

⇒昨年度、町内5地区の小中学校や保育所の保護者、地域の代表で構成された学校規模適正化懇談会において、内海中を改修して利用していく提案を受けました。その後、各地区の意見交換会でいただいた意見を踏まえ検討しました。特に両島での意見交換会においては、「内海中の位置では、遠過ぎる」という意見を多くいただきました。町内すべての学校施設が老朽化している中、できる限り早く統合を目指し、町内すべての生徒の通学時間を最優先した結果、第一段階で内海中へ移動し、第二段階として、豊浜中に新設校を建設する案となりました。

Q: 総合計画では、人口増加のための施策を第一に考えるとすると、中学校は、内海中がいいと考えます。

⇒町としては、全体的に均衡あるまちづくりを実施していくため、各地区のいろいろな行事に中学生が参加することで、「南知多町がふるさと」と思える生徒を育てていく考えです。また、まちづくりの観点から、小学校は、町内5地区に残していきますので、地域社会の生活や文化活動における中心的な場所としての機能を併せもっていると考えています。しかし、中学校は、もう少し広い地域で、子どもたちに様々な人たちとの出会いを通して社会性を育むことが必要であり、町全体からスクールバスなどで通学できる真ん中にあることが必要であるため、今回の原案となりました。

Q: 前回の説明会の時も、最終的に内海中にという感じで、私たちも受け止めていた。グラウンドの規格や交通の便などを比較すると内海中だろうと思っていた。昨年の意見交換会では、内海中にと言っていた話は、一体どうなってしまったのか。その辺の説明が非常に不十分じゃないかと感じています。どうして急に豊浜に方向転換されたのでしょうか？

⇒昨年9月に各地区の保護者意見交換会を実施しましたが、学校の環境も大事だが、毎日の通学を重視する声が多く、両島からの通学を考え、最終的に中心である豊浜に財政的な検討を踏まえて、新校舎を建設することとなりました。

Q: 豊浜へ統合した場合、グラウンドは、内海中より狭くなってしまう。男子の部活が独占的に利用して、女子の部活が利用できなくなることはないのか？

⇒校舎の建設位置を工夫して、グラウンドをより広く使えるようにします。現在の南知多町内の中学校の部活で、女子の部活あるいは男子女子の部活で、グラウンドを使用している部活は、ありません。すべて体育館を使用していますので、統合後も、新たにグラウンドを利用する部活は、無いと思われれます。また、休日や長期休業中の部活動については、町内のいくつかの施設を利用しながら、活動していく予定です。

Q: ICT教育の充実については、特に明記していませんでしたが、いかがですか？

⇒ICT教育については、昨年度から1人1台タブレットを整備しました。今後、家庭でも利用できるように進めていきます。今回の計画案には、掲載されていませんが、現在進行中でありませす。

Q: 部活動について、できれば今ある部活だけでなく、統合後の魅力ある部活をつくっていただきたい。人口減少を食い止めるという観点からも、越境してでも入りたいような中学校をつくるというのが、理想というか夢のような話ですけど、「すごく楽しい部活」、「独特な部活」、「この地域ならではの部活」ができると、すごく学校の魅力になると思うので、是非新たな部活を考えて欲しいです。

⇒将来の生徒数から考えると、廃部になる部活も予想されますので、慎重に検討させていただきます。ご意見のあったように、南知多町は環境がいいので、ICTなどを利用して、他市町の子が、来たくなるような学校づくりをしていきたいと考えています。

Q: 統合が早いのではないかと思います。まず、本日の参加人数が少ないし、コロナ禍ということもありますし、HPに資料がアップされているので、参加しない方もいらっしゃると思います。

また、今まで町のアンケート資料で、子どもの数が将来どれくらい推移していくのかというのを見て、昨年度生まれた子どもが50人だったということですが、これは自分たちの子どもが通う中学校が、将来どうなるかと言うことに対して危機感を持った親御さんが少ないと思います。どうなるか心配になっている方の一部が、今日お越し頂いているのではないかと思います。

だから、危機感をもつ方が増えないと統合は難しいと思います。

⇒統合が早いのではというお話でしたが、町としては、できるだけ早く統合をしたいと考えています。どこの中学校も1学年1クラスであり3年間ずっと同じクラスで学校生活をしているので、いい反面、高校に入学した時に、急激に人間関係が広がり、最初なじめない子も出てくる心配もあります。中学校では、様々な人との出会いをできるようにしたいと考えています。

Q: 私は、いろいろな地域から皆さんが集まってきて、いろんなコミュニケーションをとって、子どもを育てることに違和感はありません。その土地で、子どもたちが上手く成長してくれればいいと思っています。統合校に期待するのは、子どもたちの意見とか子どもたちの選択とか、夢があるみたいな感じにしてもらえるといいなあと思います。また、生徒数が急に増えるので、子どもたちの心のケアをお願いしたいです。

⇒子どもたちが、新しい学校で、どんな「夢」を描くのか、それは南知多町の将来像でもあると思いますし、内海地区などそれぞれの地区、故郷の将来像でもあると考えます。そこを、子どもたち自身が自分のこととして考え、将来の自分のことを考えていけるような学校をつくっていきたいと思っています。子どもたちの心のケアについても、統合前から交流活動を通して不安を軽減し、新しい学校生活を円滑に迎えるように教職員と協議していきます。

Q: 学校再編検討部会についてですが、構成メンバーが教育委員会の職員や保護者を代表する人で編成すると書いてありますが、そうすると住民の方がそこに入れないことになります。子どもを育ててない方や、おじいちゃん、おばあちゃんの意見などに左右されるのは嫌だと思ふ保護者の方がいるのは重々分かっていますが、町をみんなで一緒に考えるということをもつと、再編委員会のメンバーに、住民の一般参加もお願いしたいです。

これからの時代は、どこにいてもICTで繋がる時代になっていきますので、距離的な遠さや近さというよりも、心の絆や、ICTを利用した授業作りなどを積極的に実施していただいて、不登校気味のお子さんや、通うのが課題であるお子さんを、み

んなでサポートできるような南知多らしい伸び伸びした教育の場を、地域の皆さんと参加してつくっていったらと思っています。

⇒南知多町が育てたい児童生徒像は「郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」です。最初に「郷土に誇りをもち」となっていますが、現在、子どもたちの郷土は「各地区」になっていると思います。統合中学校になったときには、中学校を卒業したときには、子どもたちにとっての郷土は南知多町になってもらいたい。そういう統合中学校を作っていきたいと思います。中学校がどこの場所というのももちろん大事なことでありますが、「多くの友達と一緒に生活する時間」が、子どもたちにとって大事だろうと考えています。令和5年4月統合に向けて、課題は、たくさんありますが、進めていくつもりでいます。特に該当する学年の保護者の方は不安がいっぱいだと思いますが、「新しい友達に会える」といったことも、子どもたちに話して頂いて、ぜひ前向きに応援していただきたいと思っています。

書面による意見

町の総合計画では子育て世代の人口を増やしたいとあるが、今回の決定がそれを考えたものと思えない。

新設するにしても内海に中学校を設置すべきだと思っています。

意見で出てきましたが、統合校は寄せ集めではなく、新たな魅力的な学校になってほしいと思います。こういった集まりには、統合反対の方の方が多く来ると思いますが、私のまわりでは「早く統合してほしい」という意見しかありません。

内海中に統合する際は、バイパスとの交差点に信号機を付けて下さい！夏場は特にバイパスを走る車はスピード出しています。

中学生生活3年間の中で、途中から中学校が変更になったり、人数が倍近くになるのは子どもからしたら不安になると思います。現在の中学校へはとても近く、変更になるととても時間がかかると思っています。